令 和 7 年 度

夜間主コース

演 習 指 針

長 崎 大 学 経 済 学 部

演　習　に　つ　い　て

この演習指針は，令和７年４月から開講される「演習Ⅰ」の題目及びその内容・方針等を記載したものです。

「演習Ⅰ」は，１年間を通して履修しなければならないので，十分検討したうえで一つの演習題目を選択し，申込み手続きを行ってください。

「演習Ⅰ」・「演習Ⅱ」については，以下のとおりです。

授業科目名	演習Ⅰ		
学期・単位数・必修選択	通年・４単位・必修	標準履修年次	３年次
授業の目的・到達目標	「実践的エコノミスト」の養成を目指し、講義科目の内容の系統的理解を前提とした、特定の学問領域に関する知識の深化を図る。専門領域における問題発見とその解決のプロセスを通じ、思考能力を涵養する。		
授業方法	各ゼミは１０名から１５名の少人数で構成される。1年間を通して一人の教員のもとに履修する必修科目である。所属ゼミ決定のために、教員と履修希望者との面接等を実施し履修希望者が多い場合は選抜が行われることがある。（面接等については、本指針の各教員による説明を参照。）		
指導内容等	「実践的エコノミスト」の養成に照らして各教員が設定する課題・テーマや指導方針に基づき、学生の主体的な学習を中心とした多彩なゼミ運営が行われる。各ゼミの課題・テーマ、内容と方法、教科書・教材・参考書等については、本指針の各教員による説明を参照。詳細は指導教員が指示する。		
成績評価の方法・基準等	ゼミの課題・テーマにたいする取り組み方、主体的・積極的なゼミへの参加、報告やプレゼンテーションなどを基本として、各指導教員が成績評価を行う。		
履修要件	演習Ⅰを履修するためには、次に掲げる単位数を修得していなければならない。（入学年度により異なるので十分留意すること。） 令和３年度以降入学者 （１）教養教育科目の修得単位数が２０単位以上（外国語科目４単位以上を含む） （２）専門教育科目の修得単位数が２０単位以上 平成２４年度～令和２年度入学者 （１）教養教育科目の修得単位数が２６単位以上（外国語科目４単位以上を含む） （２）専門教育科目の修得単位数が１４単位以上		
備考	ゼミによっては上記以外の履修条件を指定している場合があるので、注意が必要である。		

授業科目名	演習Ⅱ		
学期・単位数・必修選択	通年・４単位・選択	標準履修年次	４年次
授業の目的・到達目標	卒業研究ゼミであり、大学において習得した知識の体系化と応用、また演習Ⅰにおいて培ったテーマ選択（問題解決）能力、調査研究能力等の一層の発展を目指し、各専門領域の研究を進める。大学教育の集大成として位置づけられ、その成果を卒業論文として完成させる。		
授業方法	各ゼミは１０名から１５名の少人数で構成される。演習Ⅱは選択科目であり、原則として演習Ⅰと同一教員の指導のもとに履修する。卒業論文は原則として個人研究により、個々の学生に合わせた個別指導が行われる。		
指導内容等	論文作成プロセスを通じて、幅広い教養と基礎的知識の定着を図りつつ専門的知識を一層掘り下げ、問題解決方法を生み出す思考能力を育成する。各学生の選択テーマや問題意識に則して、文献・資料の探索やデータ整理・分析、論文の形式、論文構成や論旨展開など、さまざまな観点から指導教員が助言を与える。		
成績評価の方法・基準等	第４年次の指定された期日までに卒業論文を提出しなければならない。成績評価は提出された卒業論文等により各指導教員が行う。		
履修要件	演習Ⅱを履修するためには、演習Ⅰの単位を修得していなければならない。		
備考			

○募集及び履修手続き

⑴募集人数・採用数

各ゼミの募集人数は１０～１５名とし、採用数は各教員が面接実施後に判断する。

⑵募集日程

募集は下記の日程により行う。

区分		期日	申込手続等
第１次募集	提出締切	１２月５日（木）１９時４０分	対象となる全ての学生は、第１次募集申込書を学務係へ提出する。
	面 接 等	１２月１０日(火)～１２月１３日(金)	教員別の日程は演習指針及びピロティー掲示板にて指示する。
	結果発表	１２月１７日（火）１７時５０分	ピロティー掲示板に発表する。それとともに、第２次募集を行う教員名を掲示で知らせる。
第２次募集	提出締切	１２月２０日（金）１９時４０分	第１次募集で決定しなかった学生は、第２次募集申込書を学務係へ提出する。
	面 接 等	１月７日（火）～１月９日（木）	教員別の日程は演習指針及びピロティー掲示板にて指示する。
	結果発表	１月１５日（水）１７時５０分	ピロティー掲示板に発表する。
第２次募集結果発表後の手　続　き		第２次募集までに決定しなかったものについては、ピロティー掲示板で各ゼミの採用決定状況を確認のうえ、引き続き決定するまで手続きを行う。	

※　面接等実施日程、個別相談日程は次ページ以降に掲載
※　シラバスを、LACS 及び経済学部ホームページ掲載の「演習指針」から必ず確認すること。
　経済学部ホームページ　→在学生の皆様へ　→受講の手引き　→ゼミナールガイド　→
　令和７年度夜間主コース演習指針
最終的な履修可能者（履修要件を満たした者）は，令和７年４月初めに掲示にて発表する。

○指導教員の変更について

⑴履修登録取り消しや辞退の場合は，あらためて履修手続きを行い，新たに１年間履修しなければならない。
⑵やむを得ない事情により，同一指導教員について履修することができない場合は，指導教員の変更を認めることがある。（指導教員の転出，休職，長期出張等）

○演習室使用上の注意等

⑴演習室は，４月初めに割り当てられた演習室で行われる。
⑵演習室を使用する場合は，事前に学務係の使用簿に記入し，鍵を預かり，使用後，施錠し学務係へ返却する。なお，21 時 15 分以降は時間外用鍵返却口に返却すること。
⑶演習室の使用時間は，原則として 18 時～21 時 10 分までとし，時間外等に使用する時は指導教員を経て学務係に申し出ること。
⑷演習終了後は，戸締まり等を確実に行うこと。
⑸演習に関わる報告書等の作成用として，印刷機を本館２階・多目的室に設置する。
　使用方法については，学務係窓口または掲示等で確認すること。

○その他申込みについての注意事項

⑴ 演習Ｉ募集に関する連絡事項（面接日・相談日時の変更等）・ゼミ決定通知は LACS 掲載及び本館１２講義室前ピロティーの掲示板に掲示するので、随時確認すること。
⑵申込書の配付
　１１月初旬頃から学務係前情報コーナーに設置するので、各自第何次募集かを記載して使用すること。
　また、LACS 掲載及び経済学部ホームページにも掲載するので、各自印刷して提出することもできる。
⑶教員宛に事前提出物がある場合も、演習Ｉ申込書は必ず学務係前のレポートボックスに提出すること。
⑷申込書の「題目」欄は、次ページの一覧および各指針の一番上に記載されている「演習題目」を記入すること（「課題テーマ」ではないので注意すること）。
⑸教員宛にメールを送信する場合は、『学生番号・氏名および「演習Ｉ募集について」』等件名を入れること。携帯電話でメールを受信する場合は、ＰＣからのメールを受信できるようにしておくこと。教員からの連絡が滞る場合には、電話や学務係を通じて必ず確認すること。
⑹本演習の面接を理由とした講義の「欠席届」の提出はできない。万が一、講義の時間と重複する場合は教員に時間等調整の相談をすること。
⑺提出物や面接の日時については、LACS、演習指針及び本館１２講義室前ピロティーの掲示板を確認し、その指示に従うこと。指示に従わない場合は受け入れないことがある。
⑻ゼミ決定後は、原則辞退することはできないので注意すること。（選考時に未決定となった他の学生が不利益を被ることを防ぐため。）

令和6年１１月６日現在

演習Ⅰ　面接等実施日程

※日程は変更になることがあるので、随時掲示を確認すること。

教員名	演習題目	区分	面接実施日	時間帯	場所	注意事項
今仁 裕輔	企業ファイナンス	第1次募集	12月10日(火)	18:00 ～ 21:00	本館6階603号室今仁研究室	記載の時間帯以外でも大丈夫です。面接の時間の設定のために,前日までにメールでアポイントメントをとってください。 その際に、以下についてWord1枚でまとめたものをメールで送付してください。 (1) 演習でどういったことを学びたいと思い、志望したか (2) これまでに履修した金融/計量経済/統計関連の講義名と、それぞれの講義で印象に残ったトピック 送付先：y_imani@nagasaki-u.ac.jp
		第2次募集	1月7日(火)	18:00 ～ 21:00	本館6階603号室今仁研究室	
桑波田浩之	国際経済学	第1次募集	12月12日(木)	18:00 ～ 21:00	本館６階６０４研究室	面接の前日までに、A4用紙 1枚(以内)に「自己紹介」と「志望動機」を記入したファイルを「kuwahata@nagasaki-u.ac.jp」まで送って下さい。
		第2次募集	1月９日(木)	18:00 ～ 21:00	本館６階６０４研究室	

令和6年１１月６日現在

演習Ⅰ　個別相談日程

※日程は変更になることがあるので、随時掲示を確認すること。

教員名	演習題目	実施日	時間帯	場所	備考
今仁 裕輔	企業ファイナンス	11月29日(金)	19:30 ～ 21:00	本館6階603号室今仁研究室	事前にメールでアポを取ること。
		12月4日(水)	18:00 ～ 21:00	本館6階603号室今仁研究室	事前にメールでアポを取ること。

教員研究室及び演習室配置図

令和6年10月1日現在

〇本　館

6階

複写室	男子トイレ	三輪	鈴木（崇）	南森		林（徹）		階段	EV	木村	鈴木（斉）	
階段	津留崎	森田	今仁	桑波田	西村	藤田	丸山（真）	辺見			神薗	式見（雅）

5階

工藤	女子トイレ	杜		髙井	オープンラボ	オープンラボ		階段	EV		林（麗）	小野
階段	島田	林川	AMARO，Bebio	趙	職員談話室	井田		徐	原	吉沢	成田	大角

4階

43 演習室	男子トイレ	44演習室	45演習室	46 演習室	情報化推進室		階段	EV	MS1
階段	41演習室		42演習室	院生（D）研究室			MS3		MS2

3階

メンテナンスルーム	女子トイレ	オープンラボ		34 演習室	リフレッシュルーム		階段	EV	オープンラボ
階段	オープンラボ		オープンラボ	31 演習室		32 演習室	33演習室		オープンラボ

〇東南アジア研究所

3階

共同研究室4					階段	女子トイレ	男子トイレ			
	森保		井畑			EV				岡田

2階

山口			共同研究室3		階段	女子トイレ	男子トイレ			
式見（拓）						EV	宇都宮	白水		宍倉

1階

書　庫	電気室	階段	女子トイレ	男子トイレ	資料室 1	資料室 2
	資料整理室（事務室）		EV	談話・リフレッシュコーナー		ファカルティーセミナー室

演習題目及び担当教員一覧（教員名50音順）

演習題目	職名	教員名	アドレス	内線	研究室	頁
企業ファイナンス	助教	今仁　裕輔	y_imani@nagasaki-u.ac.jp		本6階	1
国際経済学	准教授	桑波田　浩之	kuwahata@nagasaki-u.ac.jp	354	本6階	3

<注>研究室欄　本：本館　東ア：東南アジア研究所　研究室は、本冊子末尾の配置図を参照のこと。

※電話をかけるときは、各教員の内線番号の前に「095-820-6」をつける。

※携帯電話からメールを送信する場合は受信拒否設定を解除しておくこと。

教員からの返答が滞る場合は、必ず確認をとること。

学期／Semester	2025年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Others 0
開講期間／Course duration	2025/04/01～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/
時間割コード／Time schedule code	20251510000101	科目番号／Course code	15100001
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38770_398_2		
授業科目名／Course title	演習Ⅰ／Graduation Thesis I		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	今仁　裕輔／IMANI Yusuke		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	今仁　裕輔／IMANI Yusuke		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	今仁　裕輔／IMANI Yusuke		
科目分類／Course Category	演習		
対象年次／Intended year	3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y_imani@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	本館6階603号室		
担当教員TEL/Tel	y_imani@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：企業ファイナンス 課題テーマ：企業の資金調達及びその使い道の基礎的な理論について学ぶ。 またその理論を検証するための実証分析手法について学ぶ。 内容と方法：企業金融及び計量経済学に関するテキストを輪読する。その後、企業金融論に関する実証分析の論文を輪読する。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 演習Ⅰは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回のグループディスカッションの参加度(60%)，担当プレゼンテーション資料や毎回の要約資料等提出資料の質(40%)		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習)次回のテキスト範囲の要約資料作成。プレゼン担当であればスライド資料作成。その他練習問題等の課題。(2h) (復習)グループディスカッションで議論した内容の整理。(1h)		
キーワード/Keywords	資金調達/資本構成/フリーキャッシュフロー/平均分散アプローチ/CAPM/コーポレートガバナンス/情報の非対称性/最小二乗法		
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト候補は以下の通りです（未確定)。 新井・高橋・芹田「コーポレート・ファイナンス 基礎と応用」 中央経済社 鹿野繁樹 「新しい計量経済学 データで因果関係に迫る」 日本評論社		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	あらかじめ履修しておくことが望ましい科目や受講前の準備：企業金融,統計，計量経済学,ミクロ経済学,数学関連の講義を受けていることが望ましい。
アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	対面形式で行います。
学生へのメッセージ/Message for students	毎回の講義は、各受講生が事前に読んできたテキストの内容や、解いてきた練習問題に関するグループディスカッションが中心になります。グループディスカッションに抵抗感がないことが望ましいです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回-第15回	毎回：企業金融に関するテキストor計量経済学に関するテキストの輪読,ディスカッション
第16回-第30回	毎回：計量経済学orプログラミングに関するテキストの輪読,ディスカッション

学期／Semester	2025年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Others 0
開講期間／Course duration	2025/04/01～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/
時間割コード／Time schedule code	20251510000102	科目番号／Course code	15100001
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38770_398_2		
授業科目名／Course title	演習Ⅰ／Graduation Thesis I		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	桑波田　浩之／KUWAHATA Hiroyuki		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	桑波田　浩之／KUWAHATA Hiroyuki		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	桑波田　浩之／KUWAHATA Hiroyuki		
科目分類／Course Category	演習		
対象年次／Intended year	3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3、4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kuwahata[at]nagasaki-u.ac.jp ※[at]は@に置き換えて下さい。		
担当教員研究室/Office	経済学部本館604研究室		
担当教員TEL/Tel	研究室TEL: 095-820-6354		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜6校時 / メールでの質問は適宜、受けつけます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：国際経済学 / 国際貿易 / 国際金融 / 日本経済論 課題テーマ：グローバリゼーションと日本・地域経済の課題 内容と方法：急速に進むグローバル化の中で、日本や地域経済が直面している諸課題を理解・考察するために、中級レベルの国際経済学を学びます。テキストの輪読、指導教員とのインタラクティブなやり取りを通じて、国際経済及び、日本経済に関する理解を深めます。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 演習Ⅰは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	発表の内容や質疑応答、グループワークへの参加など、ゼミナールへの取り組み状況を総合的に判断して評価を付けます。(計100点)		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【予習】 輪読における各回の担当箇所を事前に読み、理解できない点を明らかにしてゼミナールにのぞんで下さい。当日は疑問点を担当者に質問して下さい。(2h) 【復習】 教科書を再読するとともに興味・関心のある事項については、他の文献を参照して下さい。(2h)		
キーワード/Keywords	国際収支、比較優位、規模の経済、海外直接投資、貿易政策、購買力平価、金利平価、国際マクロ経済政策		

教科書・教材・参考書/Materials	(教科書・候補) 伊藤元重 『ゼミナール国際経済入門 改訂3版』 日本経済新聞社 クルーグマン・オブズフェルド・メリッツ 『クルーグマン国際経済学 理論と政策 第10版』 丸善出版 若杉隆平 『国際経済学 第3版』 岩波書店 藤井英次 『コア・テキスト 国際金融論 第2版』 新世社 永易淳・江阪太郎・吉田裕司 『はじめて学ぶ国際金融論』 有斐閣 戸堂康之 『開発経済学入門 第2版』 新生社 (参考書) 山本勲 『実証分析のための計量経済学』 中央経済社 森田果『実証分析入門 データから「因果関係」を読み解く作法』 日本評論社 戸堂康之 『なぜ「よそ者」とつながることが最強なのか』 ダイヤモンド社 伊藤元重 『ネットニュースではわからない本当の日本経済入門』 東洋経済新報社 野口悠紀雄 『プア・ジャパン 気がつけば「貧困大国」』 朝日新聞出版
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース 入門レベルの経済学の科目を履修済みであることを推奨します。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は原則、全て対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	輪読の教科書は履修者と相談のうえ決定します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回～第30回	テキストの輪読・ディスカッション・グループワーク・研究報告